

フォトコラージュと感想



参加者より (ドラえもんくん)
楽しかった！次は、火遊び・水遊び・クラフト（竹とんぼなど）つくりたいな。
野外テント泊してみたいな。

保護者より
本気で遊んでくれる大人は日常生活には意外と周りにいません。この二日間学生さんたちが子どもたちに正面から付き合ってくれたことが本当にたのしかったようです。帰ってからもお喋りが止まりませんでした。コロナ禍で気遣うことが多い中、精一杯希望を叶えられるようご尽力いただいたことを本当に感謝しています。おかげさまで安心して参加できました。足りない環境でも工夫しながら取り組むことで希望を叶えられるということを感じました。久しぶりの宿泊でしたが「なつかしい！」と感じる場面が多く、子どもたちにとっても母にとっても長期休暇にいなかに帰省するような、そんな位置づけになっています。ぜひ次の世代にもキッズキャンプを引き継いでいていただけたらと思います。



参加者より (りょうちゃん)
楽しかった！次は、でかマシュマロを2〜3個つなげてみたい。打ち上げ花火したい。プールに入りたい。学生スタッフと遊びたい！

保護者より
いつもながら学生スタッフに大感謝しています。親がパワフルに動けないので、元気いっぱい走り回ってくれる学生さんと一緒に遊ぶ子どもたちは楽しんでいました。子どもの成長を毎年実感できるところがステキです。コロナ化で小規模ですが、やはり以前のように参加者20名規模程のキャンプができるといいなと思っています。

学生スタッフより
普段関わることがなかった小学生との交流で様々なコミュニケーションの図り方、寄り添い方などを学ぶことができました。次のキャンプでもキッズキャンプがいいです。色んな人とたくさんの新しい体験やキャンプを楽しみながら色々勉強になった。

2022プロジェクト運営スタッフ	子どもキャンパー8名	水流寛二	阪田昌三	竹内靖子	花川暁子	長谷川諭美
キャンプスタッフ	金本拓也	梅田純平	木村百笑	的場 聖	孫 安	
研修講師	石田易司	坂本昭裕				
医療アドバイザー	安井博規	花川暁子				
気比古民家ホスト	前田将太	前田宏美	岩井順一郎			
報告書作成	竹内靖子	阪田昌三	前田将太	長谷川諭美		
委託事業スタッフ	竹内靖子	阪田昌三				

子どもとつくる インクルーシブキャンプ プロジェクト報告書
文部科学省令和4年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト
(子供たちの心身の健全な発達のための自然体験活動推進事業)」
NPO法人キャンピズ
540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエアCANVAS谷町
web : <http://campwith.jp/> (2022年10月31日発行)



Web



facebook



文部科学省令和4年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト
(子供たちの心身の健全な発達のための自然体験活動推進事業)」

2022年度 プロジェクトを紹介します！

「子どもとつくる インクルーシブキャンプ プロジェクト」 (特定非営利活動法人キャンピズ)

プロジェクトのねらい

NPO法人キャンピズでは、2015年より発達の気になる子どもたちが主体的に自然体験活動を楽しむことを目的にキッズファミリー共生キャンプを行ってきました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大によりキャンプが中止となり、子どもたちは屋内で過ごす時間が増加し、自然体験の機会が減り、子どもたちの自然体験への関心、他者とのコミュニケーション力、社会性を育む機会の減少が課題となっています。その一助として、2021年度委託事業では感染症対策をしながら、ディキャンプを実施することができたため、今年度は、家族単位で参加する宿泊キャンプからリスタートすることで、子どもたちはより安心して、主体的にキャンプに取り組めると考えました。

さらに、子どもや家族・スタッフも、パンデミック後多様化した生活課題を共有し、可能であれば、課題を明確化し、軽減・解決することを目指し、4つの事業に取り組みました。

(①子ども会議 ②研修事業 ③キャンプ事業 ④振り返り・報告・普及)

今後、参加者の数が少人数でも実施できるキャンプ環境(気比古民家等)も構築できるよう、自然に囲まれた古民家の視察も行っています。

プロジェクトの成果

プロジェクトを実施した2022年夏は、感染者増の社会状況の中であり、安全で楽しいキャンプを行うには厳しい環境でした。しかし、子どもたちや家族・スタッフも、「キャンプを安全に楽しみたい!!」という思いは一緒でした。事前準備として、参加者がキャンプでやってみたい事を実現できるよう医療スタッフと共に感染症予防策マニュアルを作成しました。子どもや家族、スタッフの個々の思いや選択を一番に考えながらキャンプ中のルールを決めることは難しかったですが、社会の変化に合わせ、柔軟に対応することも学ぶことができました。

次のキャンプでやってみたい事(気比古民家訪問や海岸でテント泊)につながっていくことで、自然に、楽しみながら、キャンプの知識や技術、福祉マインドなどを育てたらと期待しています。

子どもとつくる
インクルーシブキャンププロジェクト!

みんなで話し合ってやりたいキャンプを決める!
キャンプ候補日: 8/7・8/8・8/9・8/10・8/11

【ミーティング日程】
6月26日(日) 10:00-11:00 Zoom説明会&ミーティング①
7月10日(日) 10:00-11:00 Zoom説明会&ミーティング②

申し込みフォーム → <https://forms.gle/V6Cz1TdoGASETrf29>
申込締切 6月25日(日) 15:00まで

主催: NPO法人キャンピズ
文部科学省令和4年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」
(子供たちの心身の健全な発達のための自然体験活動推進事業)
-プロジェクト事務局-
NPO法人キャンピズ
540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエアCANVAS谷町
WEB: <http://campwith.jp/>

プロジェクト報告

- ・子ども会議 (zoom)
- ・おとな会議 (zoom)
- ・事前スタッフ研修 (ディキャンプ)
- ・本キャンプ
 - ①信太山青少年野外活動センター
 - ②視察: 兵庫県豊岡市気比古民家等
- ・事後研修 (zoom)
- ・個別報告 (フォトコラージュ作成)
- ・全体報告 (LINE+Google Drive)

※スタッフミーティングは適宜開催

詳細はこちら



こども会議 (zoom) 2022/06/26

- ・こども／おとな自己紹介
- ・やってみたいこと
- ・テント設営(屋内)、花火、竹のクラフト(食器・竹とんぼ)、
野外料理(メスティン炊き込みご飯、そうめん、焼きマシュマロ)

スタッフ会議 (zoom) 2022/07/10

- ・感染症予防策
- ・組織づくり準備

事前研修ディキャンプ 2022/07/24

- ・講師／スタッフ／プロジェクト紹介
- ・研修セミナー
「生きづらさを抱えた
子どもたちとキャンプ」
石田易司先生
(桃山学院大学 名誉教授)
- ・昼食
- ・フィールド見学
- ・テント設営練習
- ・役割確認



自然いっぱい豊岡！
また来てね！

本キャンプ② 気比視察 2022/08/09～10

[3日目]

- ・移動
- ・気比古民家視察
- ・気比の浜
- ・気比の浜キャンプ場
- ・夕食
- ・花火
- ・城崎温泉
- ・就寝

[4日目]

- ・ラジオ体操
- ・玄武洞公園
- ・こうのとりの郷公園
- ・出石



本キャンプ① 信太山 2022/08/07～09

[1日目]

- ・アイスブレイク
- ・参加者／スタッフ／プロジェクト紹介
- ・夕食
- ・テント設営
- ・花火
- ・入浴
- ・就寝

[2日目]

- ・朝の会／テント撤収
- ・朝食
- ・竹細工(竹の食器作り)
- ・野外炊事
- ・外遊び
- ・終わりの会(帰宅組)
- ・竹とんぼづくり
- ・夕食／入浴



事後研修 (zoom) 2022/08/27

- ・講師／参加者／スタッフ／プロジェクト報告
- ・研修セミナー
「振り返りのすすめ」
坂本昭裕先生(筑波大学 教授)

報告書づくり (LINE & D) 2022/10

- ・フォトコラージュ作成(個別報告)
- ・アンケート(参加者／スタッフ)
- ・事業報告書作成



※下線部は、参加者のやってみたいこと